

IEC TC111 (電気・電子機器、システムの環境規格) EC環境フットプリント、スコープ3、IEC/GHG 国際規格化の最新動向に関する講演会

■主催：IEC TC111国内運営委員会

■担当部署：環境部

■参加者数：約100名

概要

IEC (国際電気標準化会議) において、TC111 (電気・電子機器、システムの環境規格) が2004年10月に設立されて以降、日本がTC111国際議長をつとめ、議論の場で中心的な役割を担いつつ、テーマごとに設置したWG・PT (Project team) において、国際標準化の作業を進めて参りました。

そのような状況のなか、2012年は10月15日～20日の間、フォルタレーザ (ブラジル) においてIEC TC111全体会議及びTC111傘下のWG4 (GHG排出量算定方法/GHG排出削減量算定方法)、他のWG・PT会議等が開催されましたので、最新情報を紹介するため、講演会を開催することと致しました。

今回の講演会では、TC111全体の事業活動をTC111の市川国際議長より紹介すると共に、みずほ情報総研(株)殿より、EC環境フットプリント、スコープ3の進捗状況等のご説明を頂きました。

併せて、TC111の中でも特に皆様方のご関心の高いGHG排出量・排出削減量算定方法については、WG4の国際コンビナーである齋藤主査より、ご紹介させていただきました。



プログラム

○主催者代表挨拶

TC111運営委員会委員長 小野寺浩幸氏 (株)日立製作所 地球環境戦略室 室長)

○テーマA：TC111事業活動について

講師名：市川芳明氏 TC111国際議長 (株)日立製作所 地球環境戦略室 主管技師長)

○テーマB：EC環境フットプリントの進捗状況とスコープ3の普及状況について

講師名：柴田昌彦氏 (みずほ情報総研(株) 環境エネルギー第2部 チーフコンサルタント)

○テーマC：電気・電子製品のGHG排出量/GHG排出削減量算定方法の検討状況について

講師名：齋藤 潔氏 (一般社団法人 日本電機工業会 環境部 地球環境保全第一課長)